

平成28年度亀岡市支えあいまちづくり協働支援金申請事業概要一覧

NO	対象事業	申請団体名	代表者名	申請事業名	実施場所	実施期間	課題	事業内容	目標	総事業費(円)	申請額(円)	備考
1	ステップアップ事業	NPO法人みんなのネットワーク	理事長 坂本信雄	市民活動推進フォーラム等の実施	亀岡市役所市民ホール、ガレリアかめおか他	平成28年4月1日～平成29年3月31日	亀岡市のNPO活動は単独性が多く、協働が進んでいるとは言いがたい。また、すそ野の広がりが、広域的協働の推進が課題	①NPO基礎講座「NPO×ソーシャルビジネス」 ②市民活動推進フォーラム「協働が進める市民活動」 ③各種相談会の開催	・かめおか市民活動推進センターの利用者数10,000人 ・市民活動に関する相談件数80件 ・かめおか市民活動推進センター	300,000	100,000	
2	ステップアップ事業	先憂後楽みらい会	会長 石田道夫	みらいのむらとまちづくりプロジェクト	亀岡市立人権福祉センター他	平成28年4月1日～平成29年3月31日	・少子高齢化でこの先やってくる未来の生活の準備ができていない ・水と緑を守るためのデータやグラフィティーが不足している。	①シンポジウム「浄なる水と緑の里 亀岡を受け継ぎ手渡すために」(仮称) ②フィールドワーク	少子高齢化の進行データとの中で生じる生活上の悩みを整理し、それを市民で共有する。 ・先人たちが守ってきた自然保全を豊かに引き継ぎ、環境保護、保全の意識を向上させる。	309,000	200,000	《オブザーバー依頼課》 社会教育課
3	ステップアップ事業	重利の山を守る会	会長 長瀬清澄	森林の保全と町の活性化	亀岡市曾我部町重利山の近辺の山林	平成28年4月1日～平成29年3月31日	最近の子どもは自然に触れる機会が減っている。	山林を整備して子どもが活動できるようにし、地域の子も大人と一緒に使って、子どもを中心とした地域住民の交流の場づくりを進める。	山で伐採した木材がご飯を炊く燃料や家具・おもちゃなど、姿を変えて役にたつことを子どもと学ぶ。地域の大人、子どもがともに作業することで、地域の連帯感を深める。	500,000	200,000	《オブザーバー依頼課》 農林振興課
4	ステップアップ事業	亀岡全国ふるさと連合会	会長 坂本信雄	H28年度亀岡全国ふるさと連祭り	ガレリアかめおか	平成28年10月30日	住宅開発に伴う転入者が多い町でありながら転入者が退職した後、地域とのつながりが無い。	市在住のふるさと市民、市外にいる亀岡市出身者、さらに亀岡市民との交流・絆づくりに向けて、コミュニケーションの場づくりに取り組む。	ふるさとが同じ人たちの連帯感や絆を育み、市内の社会貢献につなげる。	440,108	182,000	平成27年度では、広島県人会として交付《オブザーバー依頼課》 ふるさと創生課
5	ステップアップ事業	亀岡市遺族会 女性部	女性部長兼副会長 広瀬登代子	戦後70年平和の尊さ祈念し千羽鶴おりとDVD制作	ルビノ京都堀川、京都府遺族会館、ガレリア亀岡他	平成28年4月1日～平成29年3月31日	戦後71年となり、戦争を知らない世代が増え、戦争の記憶が風化される懸念がある。	・DVDの製作 ・各町自治会、遺族会及び市内公立小中学校へのDVD寄贈 ・出前上映会・講演会(遺族品の展示も含む)	今日の平和がかけがいのない尊い命と引き換えにあることを市民に、特に若い世代に認識させる。	155,000	150,000	平成27年度交付事業《オブザーバー依頼課》 地域福祉課
6	ステップアップ事業	自然豊かな亀岡の未来をつなぐ地域協議会	代表 西村直	地域の資源再発見～おらがまち・むらのすごいところ大発見～	第三かめおか作業所	平成28年4月1日～平成29年3月31日	中山間地では、高齢化による農業や林業の担い手不足、耕作放棄地の増加、鳥獣被害が課題	中山間地の地域活性化を目指す ・自然豊かな亀岡の未来をつなぐ地域協議会・おらがまち・むらのすごいところ大発見 ・亀岡マルシェ ・先進地の視察見学会	地域資源を再発見した人々とネットワークを組んで、亀岡市の中山間地の地域活性化につなげる。	500,000	200,000	《オブザーバー依頼課》 農林振興課 障害福祉課
小計										2,204,108	1,032,000	

平成28年度亀岡市支えあいまちづくり協働支援金申請事業概要一覧

NO	対象事業	申請団体名	代表者名	申請事業名	実施場所	実施期間	課題	事業内容	目標	総事業費(円)	申請額(円)	備考
7	市民連携事業	アユモドキの保全と京都サングの応援事業実行委員会	委員長 坂本信雄	アユモドキの保全と京都サングの応援事業	亀岡市内	平成28年5月10日～平成29年3月31日	京都スタジアム(仮称)を含む京都・亀岡保津川公園の整備に対する市民の参加意識・機運を高めるため、前年度、ロゴマークの作成を行ったが、その普及が図れていない。	・ロゴマークの愛称を募集してシール作成 ・シールの亀岡商工会議所指定の特産品へ添付や、亀岡経済同友会やJC(亀岡青年会議所)等と連携したロゴの普及活動 ・行政機関の文書や封書への添付、協力団体の車両への添付協力の要請	自然環境保全やにぎわいづくりにつなげる。	675,832	675,000	平成27年度にNPO法人みんなのネットワークとして本事業に交付《連携先》 ※平成27年の行政連携事業に該当《オブザーバー依頼課》 政策交通課
8	市民連携事業	NPO法人チヨロギ村	理事長 森隆治	砥石による都会の人との交流事業	亀岡市宮前町 神前地内	平成28年4月1日～平成29年3月31日	神前地区では高齢化が進み、意欲と活気がなくなってきている。地域に都会の人を呼び込みたいが、観光資源が埋もれてしまっている。	・砥石の採掘坑などを巡る「ちい旅」のための砥石採掘坑跡や加工場跡の現地調査と標識や看板の設置 ・ちい旅の試験実施 ・砥石に関する写真パネルや採掘道具等の展示	「ちい旅」を通して、地元と都会の人との交流を図る。砥石の展示を通して、都会の人が神前を訪れる機会をつくる。	820,000	800,000	《連携先》 (一社)日本研ぎ文化振興協会 《オブザーバー依頼課》 観光戦略課
9	市民連携事業	NPO法人プロジェクト保津川	代表理事 原田禎夫	みんなで調べて学ぶ亀岡の自然と文化	亀岡市内全域及び当団体事務所	平成28年4月1日～平成29年3月31日	急速に進む都市化の一方で野生生物の生息環境の悪化や地域文化の伝承が大きな課題となっている。	・河川ごみ調査 ※調査結果はパンフレットにまとめ「川ごみサミット」で報告予定 ・ツバメ調査 ・じぶん未来塾	若者を中心として地域の自然資源の価値を確認し、その保全策や利活用の議論を通じて、人材育成に取り組む。	1,742,298	800,000	《連携先》 亀岡みらいパス 《オブザーバー依頼課》 環境政策課
10	市民連携事業	京都・丹波/亀岡まちづくり風の会	代表 池上素子	寺子屋プロジェクト	亀岡市内の各寺院	平成28年5月25日～平成29年2月29日	子どもの食や教育、環境、農地の保全などの問題を普段から身近な課題として捉えられていない。地域の課題解決に主体的に関心を持っていない。	寺子屋カフェ～亀岡の地域課題を考える学び舎～ ・情報紙「WINDレポート」「まちづくり亀岡」の発行	本来人の交流の場であった亀岡市内の寺院を活用し、共に学びあえる場を創出することで地域課題に関心を持つ人を掘り起こす。	502,000	452,000	《連携先》 国境なき僧侶団、暮らしを見つめる会 《オブザーバー依頼課》 社会教育課
小計										3,740,130	2,727,000	

合計	5,944,238	3,759,000
----	-----------	-----------